

1. 平成 29 年度 水道事業決算（見込み）

(1) 総括事項

平成 29 年度における水道事業の給水人口は、24,951 人で行政区域内人口に対する普及率は 90.54%となっており、有収率については、前年度の有収率から 2.17%減少し 80.09%となっています。

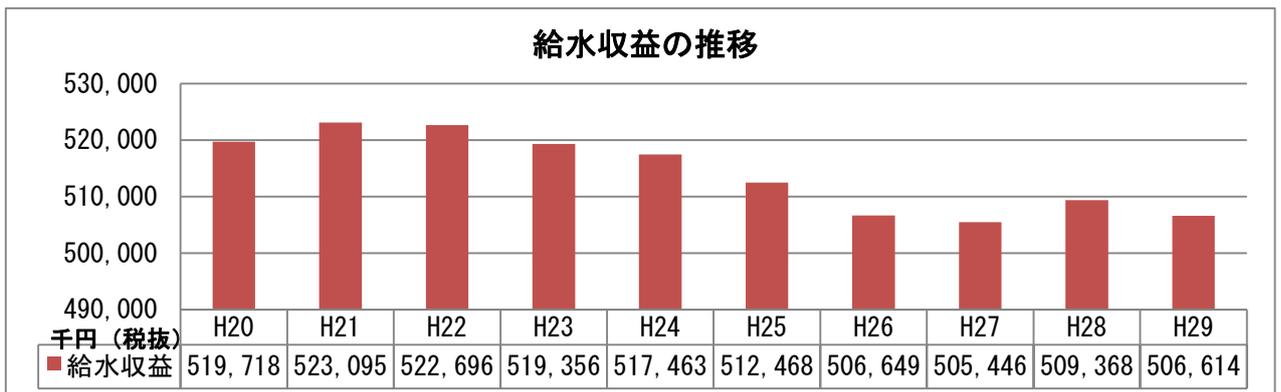
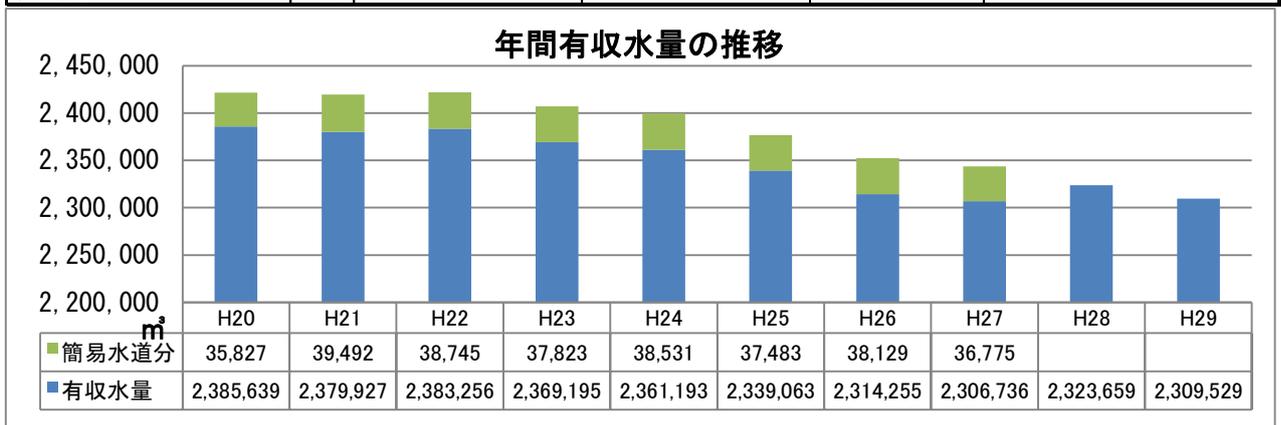
平成 29 年度決算において、収益的収支で 403 千円の純損失を計上しましたが、前年度繰越利益剰余金 35,814 千円により当年度未処分利益剰余金は 35,411 千円となりました。次年度以降見込まれる損失に充てるため、昨年同様、積立金等に処分せず未処分利益剰余金として繰越します。

資本的収支では、事業費前年比 24,003 千円減となり、資本的収支不足額が 2.92%増加しています。

水道事業としては、安全安心な水を安定的に供給するために、水源確保と水質管理の強化を図り、経営の健全化に向け施設の効率的な維持管理や計画的な更新と経費の節減に努めてまいります。

【給水状況】

事 項	単位	29 年度	28 年度	対前年度比較	備考	
行政区域内人口	人	27,557	27,944	△ 387	住民基本台帳 3 月末人口	
給水区域内人口	人	26,918	27,293	△ 375	給水区域内の 3 月末人口	
給水人口	人	24,951	25,249	△ 298	住民基本台帳上の給水者数	
普及率	行政区域内	%	90.54	90.36	0.18	
	給水区域内	%	92.69	92.51	0.18	
年間総配水量	m ³	2,883,693	2,824,888	58,805	浄水場からの配水量	
1 日平均配水量	m ³	7,901	7,739	162		
1 日最大配水量	m ³	8,714	8,742	△ 28		
年間有収水量	m ³	2,309,529	2,323,659	△ 14,130	水道料金の対象となった水量	
有収率	%	80.09	82.26	△ 2.17	年間有収水量 / 年間総配水量	



(2) 収益的収支〔施設の運転・管理等、水道事業を運営するための経費とその財源〕

収益的収入では、給水人口や有収水量の微減の中、給水収益は前年度比 0.54% 減の 506,614 千円となり、営業収益、営業外収益を併せて 639,157 千円、前年度比 1.95% の増となりました。

収益的支出では、各費目において経費の節減を図ることとしており、営業費用、営業外費用を併せて 641,402 千円となり前年度比 1.84% 減となりました。

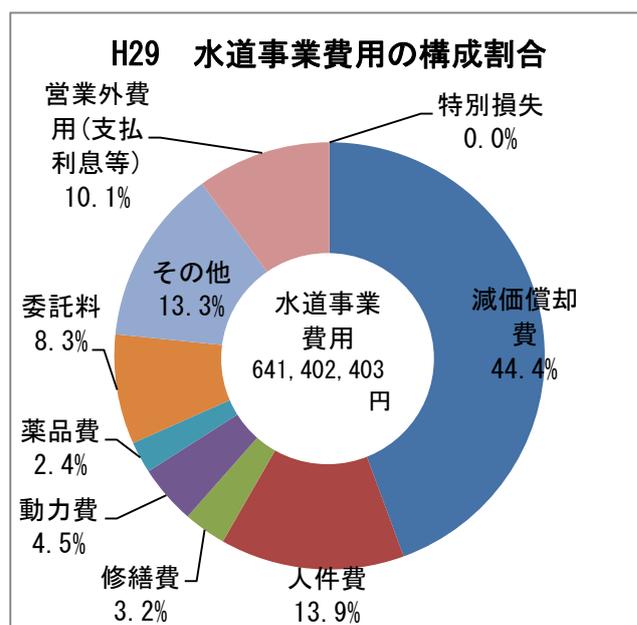
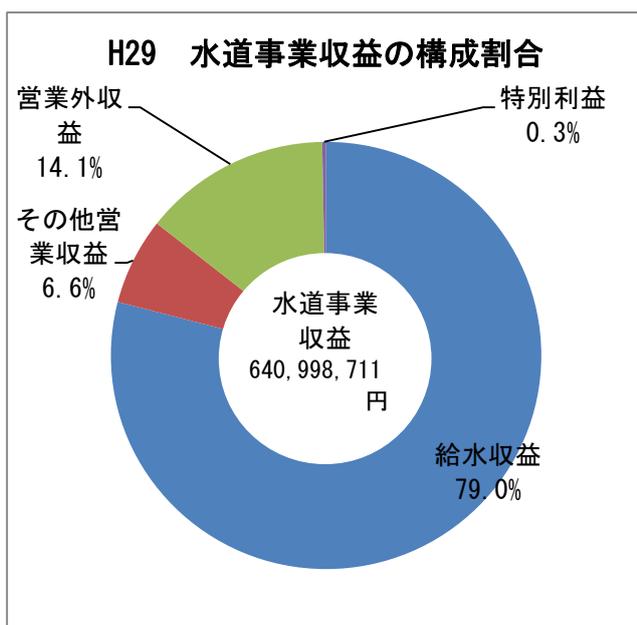
これにより経常的な収支では 2,245 千円のマイナスとなっております。

当年度の純損益につきましては、特別利益として 1,842 千円を利益計上しておりますが、403 千円の純損失を計上することとなりました。

【収益的収支】

(単位:円〔税抜〕)

科目	H29当初予算	H29決算	H28決算	差額	増減率
水道事業収益	639,421,000	639,156,717	626,913,284	12,243,433	1.95%
営業収益	549,242,000	548,695,055	537,377,981	11,317,074	2.11%
うち給水収益	509,997,000	506,614,341	509,368,318	△ 2,753,977	-0.54%
営業外収益	90,179,000	90,461,662	89,535,303	926,359	1.03%
水道事業費用	671,334,000	641,402,043	653,428,758	△ 12,026,715	-1.84%
営業費用	608,110,000	576,579,750	585,493,581	△ 8,913,831	-1.52%
営業外費用	63,224,000	64,822,293	67,935,177	△ 3,112,884	-4.58%
経常損益	△ 31,913,000	△ 2,245,326	△ 26,515,474	24,270,148	91.53%
特別利益	1,842,000	1,841,994	29,908,207	△ 28,066,213	-93.84%
特別損失	1,000	0	691,085	△ 691,085	-100.00%
当年度純損益	△ 30,072,000	△ 403,332	2,701,648	△ 3,104,980	-114.93%
前年度繰越利益剰余金	33,112,000	35,813,981	33,112,333	2,701,648	8.16%
当年度未処分利益剰余金	3,040,000	35,410,649	35,813,981	△ 403,332	-1.13%



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

※金額は消費税及び地方消費税を含みません。

(3) 資本的収支〔施設を建設整備するための経費とその財源〕

資本的収支では、資本的収入額 343,737 千円に対して、資本的支出額は 634,791 千円となり、資本的収入が資本的支出に対して不足する額 291,054 千円は過年度分損益勘定留保資金 269,389 千円、及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 21,665 千円で補填いたしました。

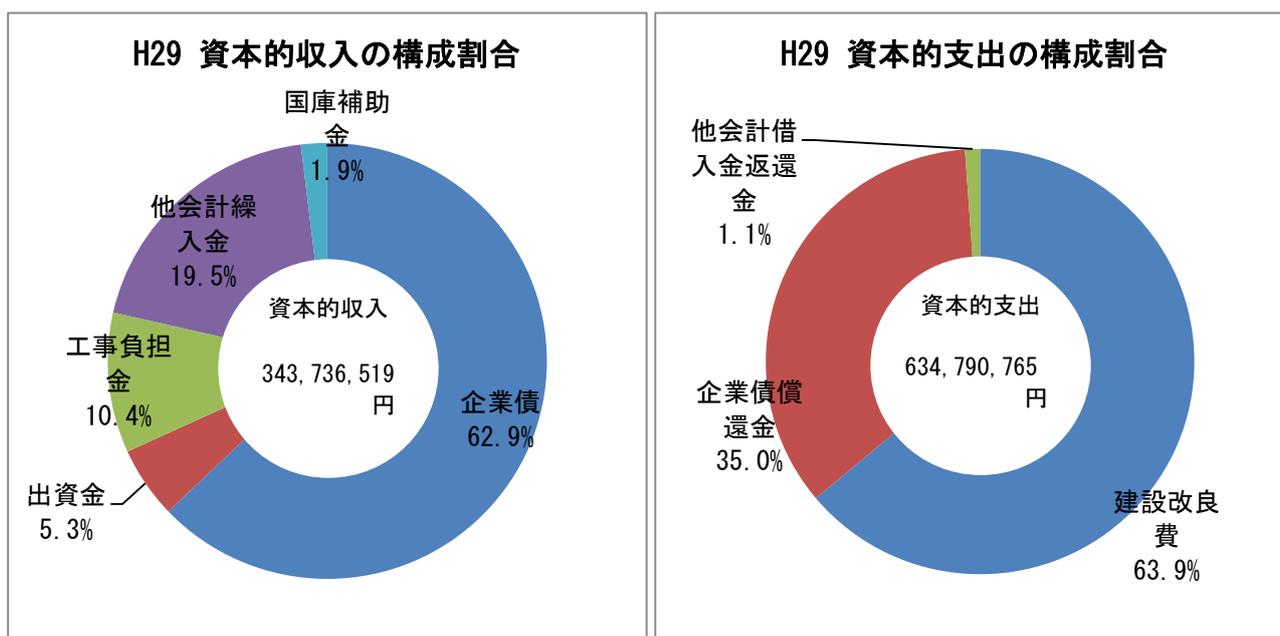
主な整備事業として、配水管網整備及び老朽管更新工事等で 124,088 千円、量水器取替工事で 64,897 千円、川西浄水場基幹改良工事を含む浄水場施設整備工事等で 153,457 千円など取り組んでまいりました。

【資本的収支】

(単位:円[税込])

科目	H29当初予算	H29決算	H28決算	差額	増減率
資本的収入	324,009,000	343,736,519	375,995,037	△ 32,258,518	-8.58%
企業債	196,700,000	216,100,000	245,700,000	△ 29,600,000	-12.05%
出資金	6,611,000	18,234,699	13,174,400	5,060,299	38.41%
工事負担金	35,374,000	35,756,360	32,369,000	3,387,360	10.46%
他会計繰入金	78,713,000	67,034,460	14,817,637	52,216,823	352.40%
国庫補助金	6,611,000	6,611,000	69,934,000	△ 63,323,000	-90.55%
資本的支出	619,781,000	634,790,765	658,793,398	△ 24,002,633	-3.64%
建設改良費	392,315,000	405,588,711	432,107,724	△ 26,519,013	-6.14%
企業債償還金	220,314,000	222,049,554	221,648,174	401,380	0.18%
他会計借入金返還金	7,152,000	7,152,500	5,037,500	2,115,000	41.99%
資本的収支(不足額)	△ 295,772,000	△ 291,054,246	△ 282,798,361	△ 8,255,885	-2.92%

※資本的収入が資本的支出に不足する額は過年度損益勘定留保資金及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填。金額は消費税及び地方消費税を含む。



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

(4) 平成 29 年度の主な事業

◎上水道第 2 期拡張事業 10,630,640 円

平成 31 年度以降に工事を進めるための調査委託費と人件費等

【主な事業】

- ・ 恵名大橋他 2 橋水道管添架検討資料作成業務委託 (その 2)

◎水源開発整備負担金【補助事業】《企業債・一般会計出資金》 19,833,000 円

サンルダム建設工事に対する事業負担金

財源は 1/3 企業債、1/3 一般会計出資金、1/3 国庫補助金となっています。

◎配水管網整備事業《企業債》 56,494,800 円

配水管未整備地区や道路改良工事に合わせた配水管の新設を行う。

【主な工事】

- ・ 南 3 丁目通道路改良舗装工事に伴う配水管網整備工事
- ・ 南 11 丁目西通配水管網整備工事
- ・ 風連東 11 号線配水管網整備工事 (その 1)
- ・ 風連東 11 号線配水管網整備工事 (その 2)
- ・ 風連東 11 号線配水管網整備実施設計業務委託



(配水管敷設工)

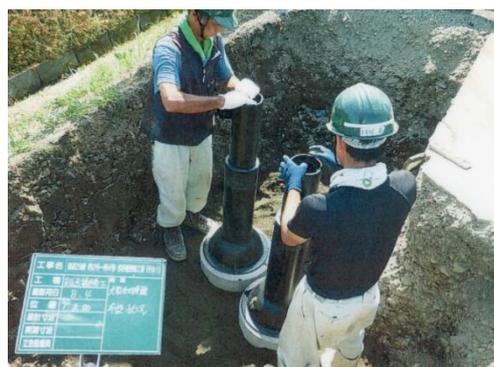
◎老朽管更新事業《企業債》 70,027,200 円

耐用年数が経過した配水管を計画的に更新する。

平成 29 年度末現在、耐用年数 (40 年) の経過している管延長は 80,508m

【主な工事】

- ・ 北 8 丁目西通老朽管更新工事
- ・ 南西 6 条通老朽管更新工事
- ・ 風連 29 線 (西 2 号～西 4 号) 老朽管更新工事 (その 1)
- ・ 風連 29 線 (西 2 号～西 4 号) 老朽管更新工事 (その 2)
- ・ 風連南 2 条線老朽管更新工事
- ・ 老朽管更新実施設計業務委託



(仕切弁管布設工)

◎川西浄水場改修事業《企業債・補助金》 113,540,400 円

老朽化による機器故障の解消。財源は企業債と一般会計からの補助金。

【主な工事】

- ・川西浄水場 基幹改良工事《企業債》
- ・川西浄水場 水源井新設工事《企業債》



(川西浄水場基幹改良)

◎浄水場施設改修事業《企業債（一部）》 44,344,800 円

各浄水場の施設整備、水源井の改修など 12 工事

【主な工事】

- ・緑丘浄水場 水質計器更新工事《企業債》
- ・緑丘浄水場 場内給水ポンプユニット更新工事《企業債》
- ・緑丘浄水場 フロキュレータ減速機更新工事《企業債》
- ・緑丘浄水場 監視カメラ更新工事《企業債》
- ・緑丘浄水場 直流電源装置蓄電池更新工事
- ・真勲別頭首工ゲートモータ更新工事
- ・瑞穂浄水場 ろ過砂更新工事



(水質計器)

◎水道量水器取替工事《工事負担金》 64,897,200 円

量水器（水道メータ）は計量法に基づき使用期限が製造から 8 年間と定められていることから、使用期限前に取替工事を行っている。

財源は、工事負担金（下水道事業と個別排水事業から台数按分）と自己財源。

【取替数】

- ・名寄地区 1,535 個
- ・風連地区 119 個
- 合計 1,654 個



(量水器取替)

◎上水道事業固定資産整理業務委託 16,848,000 円

名寄地区配水管、給水管 GIS システム管路図作成と固定資産台帳の調査整理を行った。（3ヶ年計画の 1 年目）

2. 平成 30 年度予算の概要

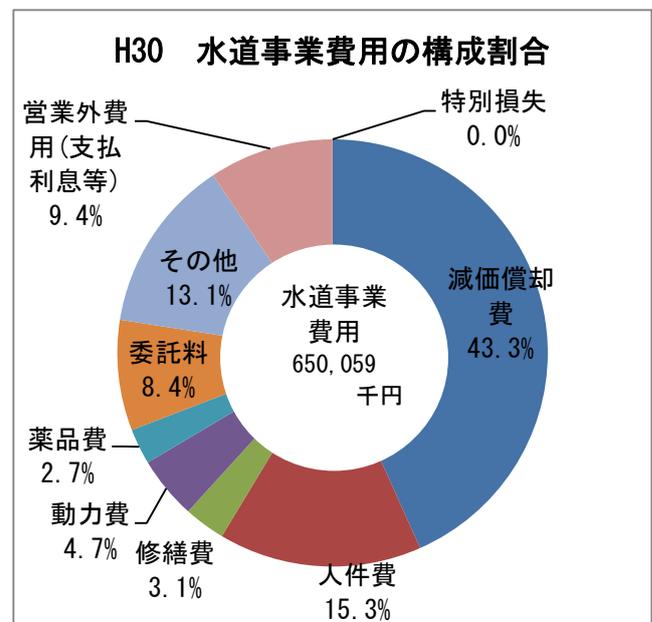
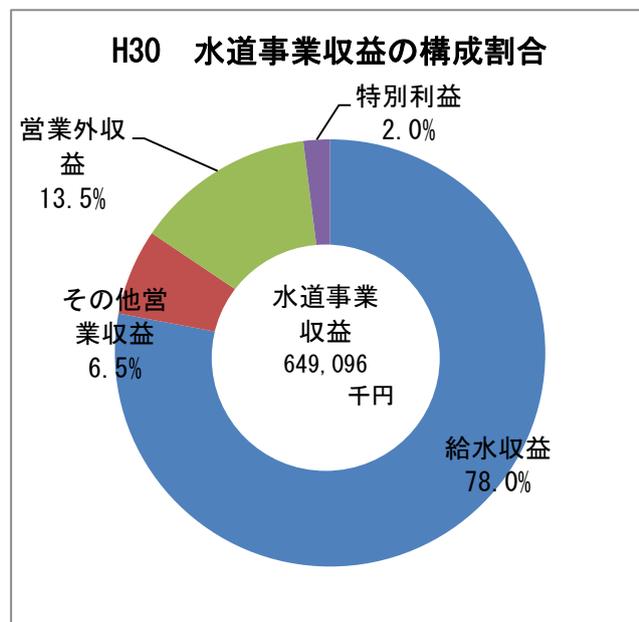
(1) 収益的収支

平成 30 年度については、給水収益の減少を見込んでおり、費用については、水道事業会計全体で職員数の変更はありませんが平成 29 年度に資本的収支の建設改良費で計上していた費用を収益的収支で計上しているため人件費が増加、委託料・修繕費は減少しております。特別利益として 12,925 千円計上しておりますが、963 千円の赤字を見込んでおります。

【収益的収支】

(単位：千円 [税抜])

科目	H29当初予算	H30予算	H29当初予算と H30予算との差額	増減率
水道事業収益	641,263	649,096	7,833	1.22%
営業収益	549,242	548,307	△ 935	-0.17%
うち給水収益	509,997	506,002	△ 3,995	-0.78%
営業外収益	90,179	87,864	△ 2,315	-2.57%
特別利益	1,842	12,925	11,083	601.68%
水道事業費用	671,335	650,059	△ 21,276	-3.17%
営業費用	608,110	589,140	△ 18,970	-3.12%
営業外費用	63,224	60,918	△ 2,306	-3.65%
特別損失	1	1	0	0.00%
当年度純損失	△ 30,072	△ 963	29,109	96.80%
前年度繰越利益剰余金	26,831	27,969	1,138	4.24%
当年度未処分利益剰余金	△ 3,241	27,006	30,247	933.26%



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。
※金額は消費税及び地方消費税を含みません。

(2) 資本的収支

平成30年度の主な事業として、真勲別頭首工 No.1 ゲートワイヤー更新を含めた改修工事を行います。老朽管更新事業については、前年度より事業費を若干増加させ工事を進めます。

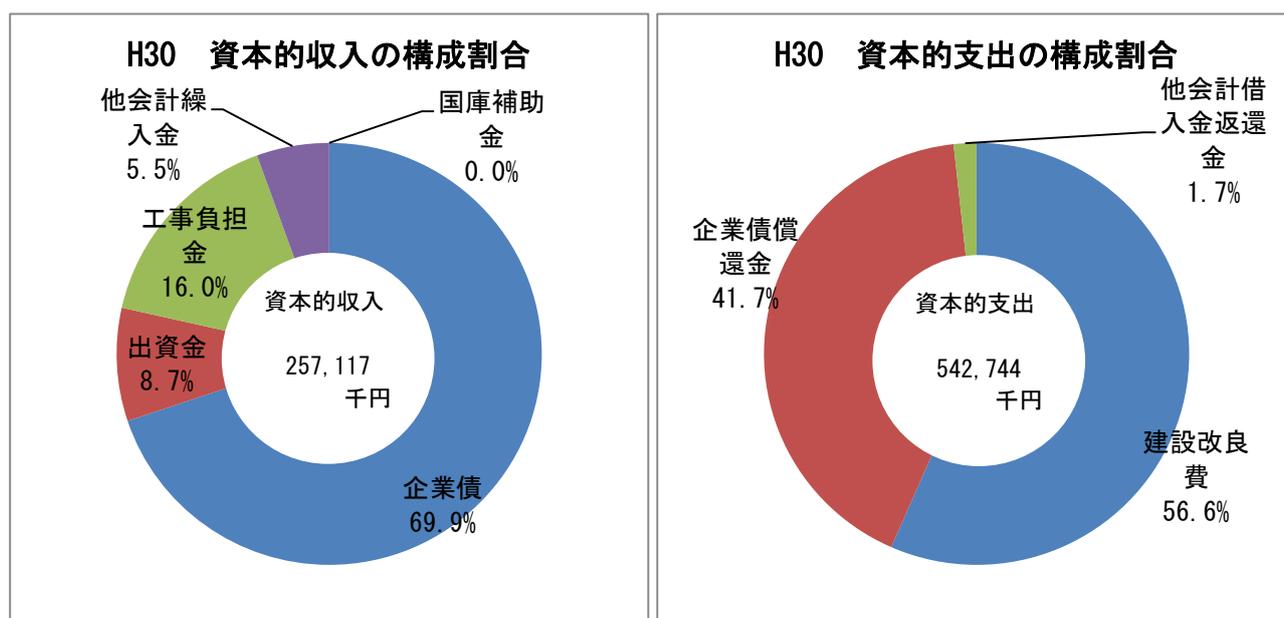
収入については、平成30年度からは国庫補助対象がなくなりますが、平成29年度の川西浄水場改修工事の終了により収入、事業費とも減少し、収支不足についても減少しております。安心安全な水道サービスを提供するためにも、「施設・設備の老朽化対策」と「企業債の増加の抑制」を検討し、今後の収支計画を元に適正な受益者負担を考えていかなければなりません。

【資本的収支】

(単位：千円[税込])

科目	H29当初予算	H30予算	H29当初予算と H30予算との差額	増減率
資本的収入	324,009	257,117	△ 66,892	-20.65%
企業債	196,700	179,600	△ 17,100	-8.69%
出資金	6,611	22,275	15,664	236.94%
工事負担金	35,374	41,066	5,692	16.09%
他会計繰入金	78,713	14,176	△ 64,537	-81.99%
国庫補助金	6,611	0	△ 6,611	-100.00%
資本的支出	619,781	542,744	△ 77,037	-12.43%
建設改良費	392,315	307,051	△ 85,264	-21.73%
企業債償還金	220,314	226,303	5,989	2.72%
他会計借入金返還金	7,152	9,390	2,238	31.29%
資本的収支(不足額)	△ 295,772	△ 285,627	10,145	3.43%

※資本的収入が資本的支出に不足する額は過年度損益勘定留保資金及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填。金額は消費税及び地方消費税を含む。



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

(3) 平成30年度の主な事業

【主な事業】

- ◎水源開発整備負担金（サンルダム負担金）《企業債・出資金》 25,667 千円
サンルダム建設工事に対する事業負担金
財源は 3/5 企業債、2/5 一般会計出資金となっています。

- ◎浄水場施設改修事業《企業債（一部）》 63,450 千円
真勲別頭首工ゲートワイヤー更新工事他、緑丘浄水場 5 工事、風連浄水場 2 工事、智恵文中央浄水場 1 工事、風連日進浄水場 1 工事を予定

- ◎配水管網整備事業《企業債》 20,000 千円
風連商工団地 1 号線他 1 配水管網整備工事（HPPEφ75 L=140m）他 1 工事を予定

- ◎老朽管更新事業《企業債》 91,010 千円
西 8 条通（北 4 丁目～北 1 丁目）老朽管更新工事（HPPEφ100 L=420m）他 7 工事を予定

- ◎水質検査機器更新事業《企業債》 5,184 千円
水質検査用冷蔵庫購入

- ◎水道量水器取替工事《工事負担金》 81,423 千円
名寄地区 1,616 台、風連地区 223 台、智恵文地区 3 台、風連日進地区 12 台の量水器（水道メータ）交換工事を予定
財源は下水道事業、個別排水事業から工事台数按分による工事負担金と自己財源

- ◎上水道事業固定資産整理業務 10,152 千円
名寄地区配水管、給水管 GIS システム管路図作成と固定資産台帳の調査整理